

GLOBAL MIND 글로벌 마인드

国際交流通信 8号 6월 2일 2014 발행 開智中学校・高等学校 国際交流委員会

開智高校の校長先生をはじめ、教員3名と26名の生徒は、5月24日から26日に韓国、釜山にある釜山鎮女子高等学校と養精（ヤンジョン）高等学校を訪問しました。姉妹校の皆さんから熱烈な歓迎を受け、心温まるおもてなしをして下さいました。両校の生徒達は最初、緊張しながらペア対面をしましたが、だんだんと話が弾んでいき、こやかに、楽しく過ごすことができました。2日目は慶州と一緒に訪れました。両校の生徒は同じバスに乗り、ペアの友達と韓国語、英語、日本語を交えて会話をし、好きな歌手や日常生活の話をしていました。そして慶州での研修を終えた後は、ペアの生徒の案内で、各グループで自由に釜山を散策しました。地元っ子だけが知っている美味しいお店に連れて行ってくれたようです。3日目は釜山市内をゆっくりと観光しました。それでは、ハイライトを紹介していきます。

1日目 釜山鎮女子高等学校における交流

釜山鎮女子高等学校の図書館で歓迎式を開いてくれました。まず、両校の校長先生の挨拶があり、次に、2日の中屋実優さんが生徒代表で挨拶をしました。流暢な韓国語で堂々と発表し、聴衆に感動を与えてくれました。また、10名の生徒が韓国語と英語で開智高校の紹介をしました。韓国の生徒達は興味津々に聴いていました。この10名の生徒達は自分でスライドを作り、原稿も作成し、定期考査の合間を縫って一生懸命練習をしました。心のこもったプレゼンテーションでした。



続いてペアの友達とプレゼント交換です。お互い、嬉しそうに交換し、あちらこちらで歓声が上がりました。また、釜山鎮女子高等学校の合唱部が開智高校の校歌を歌ってくれました。上手な日本語と美しい歌声に魅了されました。異国の地で校歌を聞くと、涙が出てきました。きめ細やかな心遣いに感激をしました。

さあ、今度はサムルノリ体験です。サムルノリって知っていますか。サムルノリ(사물놀이)は、朝鮮の伝統楽器であるケンガリ・チン・チャング・ブクを用いた韓国の音楽のことです。音楽の先生の指導のもと、合奏をしました。開智生は覚えるのが早く、リズム感もよいので上手にできました。また、先生からお褒めの言葉を頂きました。開智生の皆さんは音楽の才能が有りますね。尊敬します。



次に、韓国の伝統衣装を体験しました。ペアの友達に着方を教えてもらいました。綺麗な色の衣装に身を包み、皆で記念写真を撮りました。女子生徒はチマチョゴリを着用し、男子生徒はバジチョゴリを着ました。さわやかな釜山の風にゆったりとあたりながら、緑で包まれた校庭でお互い写真を撮りました。チマチョゴリは結婚式の時に着る伝統的な衣服です。멋지네요!



夕ごはんは姉妹校の食堂で頂きました。メニューは豊富で、バイキング形式でした。何を食べようか迷うほどありました。初めてのものも多く、わくわくしながら、頂きました。チャップチェ、キンパップ、チヂミ、わかめスープ、プルコギ、魚などがあり、お腹がいっぱいになりました。美味しかったです。맛있었습니다.



2日目・3日目の研修



2日目は慶州(キョンジュ)に行きました。慶州は、韓国の歴史文化都市で、1995年に世界遺産に登録された石窟庵と仏国寺をペアの友達と一緒に回りました。慶州を初めて訪れる韓国の生徒が多く、熱心にガイドさんの説明を聞いていました。この後は、ペアに連れられて釜山市内を案内してもらいました。一緒に買い物をし、ご飯を食べるなど濃厚な4時間半を過ごしました。そして、遂にお別れの時がやってきました。雨がしとしと降る中、みんな涙ながらにお別れをし、「また、会おうね」と約束をし、やっと開智生はバスに乗り込みました。しばらくバスの中は無言で、涙を静かに流していました。3日目は釜山市民がよく訪れる魚市場であるジャガルチ市場と国際市場に行き、午後の便で帰国の途に就きました。

この研修旅行は生徒にとっても、教員にとっても素晴らしい体験となりました。韓国の文化、言語も学ぶことができ、また、韓国の方々の優しさや温かさが伝わってきました。次に、来校される時に、心を込めておもてなしをしたいと思います。ファイティング! 파이팅!



(문책 : 坂口典子)